

株式会社エクストランス

# X-MON3.15.0

アップデート内容

## まえがき

---

本資料は X-MON3.15.0 のアップデート内容資料です。

X-MON3.15.0 で新たに追加した機能と、改修された機能、不具合修正内容について記載します。

X-MON の入門リファレンスや監視エージェント導入監視方法などのマニュアルについては X-MON サポートページにログインしてご確認ください。

また、本資料で紹介した新機能についてのマニュアルもサポートページで公開しています。

<https://x-mon.jp/support/>

2022 年 03 月

## 内容

---

1	アップデート内容.....	3
1.1	Windows2022 監視の対応 .....	3
1.2	ホスト登録コマンド対応 OS 追加 .....	3
1.3	NSClient++プロセス監視プラグイン改修 .....	3
1.4	その他の更新.....	4
2	不具合の修正.....	5
2.1	監視・通知設定 .....	5
2.2	管理設定 .....	5

## 1 アップデート内容

---

X-MON3.15.0 では以下の機能が追加・改修されました。

- Windows2022 監視の対応
- ホスト登録コマンド対応 OS 追加
- NSClient++プロセス監視プラグイン改修

### 1.1 Windows2022 監視の対応

WindowsServer2022 までのサポート対象 Windows 環境に監視プラグインを対応しました。

また、Microsoft 社のセキュリティアップデートに対応し、WMI 監視を更新しました。

この変更に伴う既存の監視への影響や、設定変更の必要はありません。

※この WMI 監視の更新は、現在サポートサイトで配布中の「[WMI 監視修正パッチ](#)」と同様の物であり、既に適用済みの環境でもアップデートに問題はありません。

### 1.2 ホスト登録コマンド対応 OS 追加

被監視サーバからのホスト登録コマンドが、Rocky Linux 8、Windows Server 2019 / 2022 に対応しました。

詳しい登録方法はサポートサイトの「[X-MON ホスト登録コマンドマニュアル](#)」をご参照ください。

### 1.3 NSClient++プロセス監視プラグイン改修

対象プラグイン

- Windows リソース監視 > NSClient++プロセス数監視
- Windows リソース監視 > NSClient++プロセスステータス監視

パフォーマンスグラフ等に表示されるプロセス数の表示を、サービス設定で指定した「ステータス(起動/停止)に一致するプロセス数」へ変更しました。

※従来は指定したステータス(起動/停止)に関わらず「起動中のプロセス数」を表示していました。

これにより、監視結果のステータス(OK や CRITICAL 等) やしきい値との関連性が、より分かりやすくなりました。

この変更に伴う既存サービスの監視結果のステータスへの影響はありません。表示上の変更となります。

また、X-MON3.11.0 以降の NSClient++ ver.0.5 で発生した以下の不具合を修正しています。

- 監視結果のメッセージに、プロセス数ではなくプロセスのインデックス番号が表示される。
- 指定したプロセスが停止していた場合に、監視ステータスが CRITICAL ではなく UNKNOWN となる。

上記いずれも NSClient++ エージェントに変更はありません。

#### 1.4 その他の更新

- X-MON の管理画面へログインした履歴を保持し、監視メニューの「システム情報 > X-MON サーバファイル参照 > X-MON ログ」からダウンロード可能となりました。  
※履歴はログインページでログインボタンを押した時のみ保存され、以降セッションを使用したアクセスでは記録されません。  
バックアップは「X-MON のログ」に含まれます。
- 通知エスカレーションの実行結果を保存し、監視メニューの「システム情報 > X-MON サーバファイル参照 > X-MON ログ」からダウンロード可能となりました。  
バックアップは「X-MON のログ」に含まれます。
- ビジュアルマップ一覧のサムネイル画像を更新するボタンを追加しました。

## 2 不具合の修正

---

以下の不具合を修正しております。

### 2.1 監視・通知設定

- Hyper-V ステータス監視で、被監視対象仮想マシンが Windows2012R2 以降の場合、ステータス「保存完了」が「不明」と判定される。
- Hyper-V ゲスト CPU 監視で指定したコア番号が半角数字以外の場合、監視結果が CPU コア 0 番の情報となる。
- Hyper-V ゲストストレージデバイス(エラー)監視で、被監視対象仮想マシンに複数ディスクが存在する場合、結果が正しく表示されない場合がある。
- Hyper-V ゲストストレージデバイス(読み取り/書き込み)監視で、監視結果の書き込み量が正しく表示されない。
- SQL\*Plus 経由での Oracle 総セッション数監視プラグインで、PDB を対象とした場合に該当 PDB の DBA 権限を有しているユーザで監視が行えない。
- 通知エスカレーション設定に登録した障害時の警告灯エスカレーションが、正常に動作しない場合がある。
- openssl パッケージがインストールされていないホストから、ホスト登録コマンドを使用して X-MON へホスト登録を行った場合、NRPE エージェントのセットアップに失敗する。

### 2.2 管理設定

- ダッシュボードを参照中のユーザが存在する状態で該当のダッシュボードを削除した場合、正しく画面表示がされない場合がある。
- エスカレーション設定に警告灯鳴動を登録した状態で、警告灯設定を全て削除した場合に意図しない表示が行われる。
- 3.3.0 のバックアップをリストアした場合、一部不要なデータが残る場合がある。
- 3.4.1 以前のバックアップをリストアした場合、ダッシュボードの外部リンク設定が表示されない。
- 3.11.0 のバックアップをリストアした場合、X-MON 全体設定が動作しない場合がある。
- X-MON3.5.0 以前から X-MON3.13.1 以降へアップデートした場合に、アップデートが正常に実行できない。

その他軽微な不具合修正を含みます。